

先人に学ぶまちづくりを

小林一三氏生誕135周年に思う

みなさんは葦崎出身で宝塚歌劇団や阪急電鉄、東宝映画などの生みの親である小林一三氏をご存知ですか？

氏は明治6年（1873）1月3日、当時の北巨摩郡河原部村（現在の本町一丁目）に生まれ、今年が生誕135周年の年となります。

偉大な経済人である氏のまちづくりの手法について「小林一三に学ぶ会」会長内藤久夫さんに寄稿していただきましたので紹介します。



Profile

小林 一三（1873～1957）

1873年 北巨摩郡河原部村（現 本町一丁目）に生まれる
1907年 箕面有馬電気軌道（現 阪急電鉄）専務取締役
1927年 阪急電鉄取締役社長
1940年 商工大臣
1945年 戦災復興院総裁
1957年 死去（84歳）

あの宝塚の公演がわがまちにやって来た理由

今から12年前の平成7年9月23日、葦崎市文化ホール柿（こけら）落としに宝塚歌劇団花組の公演が行われたことを覚えている方もたくさんいるかと思えます。当時あの宝塚の公演がわがまちにやって来るということに熱狂的なファンから、ふだんはあまり宝塚に興味のない人まですっかり町中がこの話題でもちぎりました。

2日間4回にわたる公演のチケットは発売と同時に売り切れてしまい市内外より大勢の方からチケットはないかという問い合わせをたくさんいただいたのを思い出します。

山梨の小さな市である葦崎になぜ宝塚歌劇団が柿落とし公演にかけつけてくれたのか当時多くの人は知りませんでした。

それはとりもなおさず宝塚歌劇団の生みの親であり阪急電鉄や東宝映画などの創始者である小林一三氏（以下敬称略）の故郷が葦崎市であったからでした。

今でもそうですが、全国各地からの宝塚歌劇団の地方公



し12歳までの少年時代を葦崎で過ごしていました。氏が主に関西の経済界で活躍したせいもあってか関西の人は阪急の創始者といえば小林一三とすぐわかりますし、また関西出身の経済人だと思っている人も多いようです。また逆に葦崎の人は小林一三が偉大な経済人であり、さらにまた本市の出身であることもご存じない方も少なくないようです。

演の要望はおびただしい数の自治体や団体が願っています。が、なかなか実現は難しいものがあります。

偉大な経済人「小林一三」が少年時代を過ごした葦崎

小林一三は明治6年に当時の北巨摩郡河原部村、現在の本町一丁目のにらさき文化村のある場所「布屋」と呼ばれる豪商に生まれました。

寺子屋の名残を留める蔵前院の公立小学葦崎学校へ入学

庶民に夢を与え続けてきた輝かしい足跡を伝えたい

冒頭にあげた大阪と宝塚温泉郷を結び阪急電鉄を起し沿線の住宅開発をしたこと。終着駅である宝塚温泉に大劇場を創り宝塚歌劇団を創設して今までにないまったく新しい文化を作り上げたこと。始発駅である梅田駅の上に日本で初めてターミナルデパートという発想で阪急百貨店を作ったこと。東宝をつくり映画や演劇の世界で不動の地位



を築き庶民に夢を与え続けてくれたこと。プロ野球の阪急ブレーブス（現オリックス）を設立したことなど。その足跡は輝かしいものばかりです。

私たちの郷土からこのような偉大な人物が輩出されているにもかかわらず、まだまだ地元での知名度や評価がいまひとつであることがとても残念に思います。そのような思いから私は「小林一三に学ぶ会」という会を作って小さいながらも活動を続けてきました。

文化ホールの柿落としの際には、宝塚歌劇団の歓迎会を氏のゆかりの地であるにらさき文化村で行いました。花組のスターを目の当たりにして会員や関係者が感激を新たに

しました。さらに県内出身の元宝塚のスターたちの後援活動を行いコンサートやトークショーを開催したりしました。現在も現役の宝塚歌劇団の団員である神麗華さん（葦崎市水神出身）が活躍をされています。また氏にゆかりのある方々を招いて勉強会を行い貴重なお話の数々をお聞きすることができました。

さらににらさき文化村入口に「小林一三氏生家跡地」という看板を作成し、市外から来た人にもわかるような整備も行いました。現在は宝塚歌劇団のファンを中心に情報交換や観劇などを行っています。宝塚が大好きで夢と感動を求め活動を行っています。

**郷土の偉人に学ぶ
夢のあるまちづくりを**

小林一三は「夢の経営者」という異名をもつ類まれな経営者でありまた文化人でもありました。庶民に夢を与えることが氏の生涯を通してのライフワークでもあったと言えます。

この郷土の偉人に学びそしてまたこの葦崎の地にも氏の

描いたような夢のあるまちづくりを進めることが私たち葦崎市民にも求められているのではないのでしょうか。

今、地方はどここの都市も活力を失いかけています。自分たちのまちに自信も誇りさえも失いかけています。いわば今まで経験したことのない危機に直面しているとも言えます。このようなときこそ行政も市民も一体となって将来に向かって新たな夢を描き夢の実現に汗を流さなくてはならないのではないのでしょうか。

葦崎にとつて新たな夢、それは市民一人ひとりが希望をもてるまち、ここに暮らしてよかつたといえる楽しいまち、全国に向かって誇りの持てるまちを自分たち自身で探し求め、そして作りあげることが必要とされます。

おりしも今年には小林一三生誕135周年の年となります。この記念すべき年に葦崎に新しいまちづくりのパワーが生まれてくることを願ってやみません。夢を描いて皆で考えそして皆で行動する、今年はそのような力強いまちにわが市を置いていこうではありませんか。

「小林一三に学ぶ会」

内藤 久夫

**成人されるみなさんの
輝かしい門出をお祝い申し上げます
平成20年成人式のご案内**

葦崎市では、成人されるみなさんを祝い、平成20年成人式を次のとおり実施します。

式典終了後には、記念撮影や成人式実行委員会による手作りのイベントを予定しています。

当日は、ご家族の席も用意してありますので、一生に一度の思い出に残る成人式に、みなさんのご来場をお待ちしています。

- 日時 1月13日（日）
- 場所 東京エレクトロン葦崎文化ホール 大ホール
- 式典 13時30分～
- 受付 12時30分～13時15分
- お問い合わせ
教育課生涯学習担当 内線（267）

